

3回目：平成27年9月26日（土） 中央講堂 参加者：約400名

8) 教育施設

西新橋校では、情報端末を利用した学習環境の改善を図るため、高木2号館南講堂の講堂システムを整備し、パソコンやタブレットとプロジェクターの無線接続が可能となった。

II. 入学試験

1. 入学試験は、平成28年2月4日（木）に五反田TOCビルで一次試験を、2月13日（土）・14日（日）に本学西新橋校舎で二次試験を実施し、2月18日（木）午後3時に合格発表を行った。

志願者数は2,276名、入学者数は112名である。

入学者の内訳は下記の通りである。

① 男子 69名、女子43名

② 現役 42名、1浪56名、2浪9名、その他5名

③ 地域別入学者数

北海道	2名	東京および関東地方	92名
甲信越・北陸地方	2名	東海・近畿地方	8名
山陽地方	1名	四国地方	3名
九州地方	3名	その他（在外教育施設等）	1名

III. 国家試験

1. 医師国家試験

第110回医師国家試験が2月6、7、8日の3日間にわたって施行され、結果が3月18日に発表され本学は、110名中108名合格（98.2%）、新卒は107名中107名合格（100.0%）、既卒は3名中1名合格（33.3%）であった。

国・公・私立大学の全国総合順位では、第4位（前年は第9位）、私立大学だけでは第3位（前年は第4位）であった。他の私立大学の状況は、自治医科大学（99.1%1位）、東京医科大学（98.5%2位）、順天堂大学医学部（98.2%3位）、日本大学医学部（97.5%5位）、兵庫医科大学（95.2%6位）、東邦大学医学部（94.8%7位）であった。

全国受験者総数は、9,434名、うち合格者8,630名で、合格率は91.5%（前年は91.2%）であった。

IV. 退任記念式典

平成28年1月30日（土）午後3時から大学1号館講堂において開催した。

小川 武希 教授（救急医学講座）演題：「慈しみの時」

救急医学の分野で活躍された小川教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで宇都宮一典教学委員長から同じく定年退任される2名の相澤良夫教授（内科学講座（消化器・肝臓））、西野博一教授（内科学講座（消化器・肝臓））の略歴が紹介され、松藤千弥学長より長年の大学への貢献に謝辞が述べられ記念品を贈呈した。また、同窓会、父兄会、医学科学生会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される3教授を囲んで退任記念パーティーが「東京プリンスホテル マグノリアホール」にて開催した。会場には、教職員、同窓、学生など200名を超える参加があり、盛大なうちに会は終了した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成27年4月～平成28年3月

教学委員長 茅島 江子

教学委員 田中 幸子、濱中 喜代

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成27年度は、1年生（24期生）60名、2年生（23期生）60名、3年生（22期生）60名、4年生（21期生）41名で新学期をむかえた。
- ② 平成27年度オリエンテーションは、4月3日から17日にかけて実施した。カリキュラムや学生生活上の注意などの説明、キャリア支援に関するシンポジウム、健康診断やカルト教団への注意を喚起する講演も平行して行なわれた。また、医学科新生と合同で、スタートアップ宿泊研修（4月11日、12日、山梨県富士吉田市）や救急蘇生実習を行った。
- ③ 平成27年4月11日、学生が自身の知識獲得状況を確認し、今後の学習課題を明確にすることを目的に、2年、3年、4年生を対象にコンピュータ試験を実施した。
- ④ 平成27年6月13日、全学年の保護者を対象に、学生に関する情報交換会を実施した。
- ⑤ 平成27年7月22日、学生・教学委員・カリキュラム委員合同会議を開催した。
- ⑥ 次の期間に定期試験を実施した。
 - ・前期 平成27年6月27日、平成27年8月21日～27日、9月14日～18日
 - ・後期 平成27年12月15日、平成28年1月28日～2月4日
- ⑦ 平成27年7月26日、22期生の「看護への思いを新たにす式」の一環として、三浦萌氏（本学15期生）による講演会テーマ「私の看護実践と対戦にしていること」が実施され、8月29日に本学関係者、ご父母をお招きし、式典を行った。
- ⑧ 平成27年10月10日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑨ 平成27年10月31日、看護学科4年生と医学科5年生による、医療倫理に関する共修演習を実施した。
- ⑩ 平成27年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。
- ⑪ 平成27年11月12日、4年生の看護研究発表会が行われた。
- ⑫ 平成28年2月18日、佐々木公一氏（ALS患者）による「やさしさの連鎖ー難病ALSと生きる」の講演会を開催した。
- ⑬ 平成28年3月4日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、21期生40名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。
- ⑭ 平成28年3月2日、兼任教員、非常勤講師を交え、講師会を開催した。

II. 入学試験

1. 平成28年度入学試験は、平成28年2月10日に一次試験を、2月13日に二次試験を実施した。志願者数は、570名、入学者は60名、その内訳は次のとおりである。
 - ① 女子 60名、男子 0名
 - ② 現役 52名、1浪 7名、2浪 1名
 - ③ 地域別入学者数

北海道・東北地方	1名	東京および関東地方	49名
信越地方	3名	東海地方	3名
近畿地方	3名	中国・四国地方	1名
九州・沖縄地方	0名		
2. 平成27年度オープンキャンパスは、平成27年7月18日と19日の2日間実施し、参加者数は1,119名（前年比+238名）であった。また、11月7日にミニオープンキャンパスも開催し、参加者は194名（前年比-44名）であった。
3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された16箇所の大学ガイダンス等に教員・学事課職員が参加した。
4. 高等学校3校（田園調布学園高等部、東洋女子高等学校、都立府中高校）へ訪問し、模擬講義を行なった。

Ⅲ. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第105回看護師国家試験は、平成28年2月14日に、第102回保健師国家試験は、平成28年2月16日に実施され、その結果が3月25日に発表された。看護師国家試験は21期生40名、20期生1名が受験、41名全員が合格（100.0%）し、保健師は21期生20名が受験し、全員が合格した（100.0%）。

なお、全国の看護師国家試験合格率は89.4%、保健師国家試験合格率は89.8%であった。

Ⅳ. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を実り豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が5～6名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

Ⅴ. 進路指導関係

学生への進路指導については、早期から担当教員が個別面談を実施するなど、きめ細やかに対応を行った。また、ナース就職支援室と協力し、分院の見学バスツアーを行うなど、慈恵への就職指導にも力を入れた。

平成28年3月卒業生40名の進路の内訳は、次のとおりであった。

本学附属病院への就職	30名
進学	1名
保健師として就職	0名
他病院就職	9名
その他	0名

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成27年度は以下のとおり実施した。

1) 研究助成制度の運営

平成22年度の経常費補助金特別補助の大幅な見直しにより、大学院生に対する大学院研究助成金と大学院教員に対する医学研究科研究推進費の助成制度が廃止された。本学では研究の充実化と活性化を堅持するため平成27年度は以下のとおりとなった。

① 大学院研究助成金

・平成27年度採択件数：15件

② 医学研究科研究推進費

・平成27年度採択件数：新規2件、継続2件

また、臨床医学講座に所属する教員と基礎医学講座もしくは総合医科学研究センターに所属する教員が臨床医学における新たな研究の展開と技術開発に関する研究シーズを共同で探索し、次年度に科研費等の外部競争的研究資金を獲得することを目的とした東京慈恵会医科大学萌芽的共同研究推進費を平成25年度より創設した。

③ 萌芽的共同研究推進費

・平成27年度採択件数：新規5件

2) がん治療医療人養成コース

高度ながん医療を実施できる国際的な視野をもったがん専門医を養成するため、社会人大学院生を対象とした「がん治療医療人養成コース」を既存の悪性腫瘍治療学の授業細目に組入れて募集を行った。志願者：0名

3) カリキュラム内容の検証

・社会人大学院生のニーズにより、平成23年度から共通カリキュラムにe-learningシステムを利用した「疫学・臨床研究」の科目を導入し、実施した。単位取得者3名さらに、